

TW I 監督者訓練とは

TW I とは、第二次世界大戦時にアメリカで開発された教育訓練で、日本へは1950年に導入され、現在は数多くの企業に支持されています。

職場を直視した時、正しい仕事のやり方が守られていない、仕事が遅れる、やり損ないややり直しが多い、怪我をする者がいる、言ったつもりが伝わっていない、上司の指示に従わない、といった問題がある場合、正しい仕事の教え方や、適切な人の扱い方を実践すれば、多くの問題は取り除くことができるはずです。

この『正しい仕事を教える』『適切な人の扱い方の技能を活用する』ことこそがTW I なのです。TW I は今や製造業にとどまらず、医療分野や介護分野にまで、職場の問題改善のために導入が広がっています。

TW I 3コースを身に付けておくと、特級技能検定の受験対策として活用できます。

認定職業訓練

TW I 監督者訓練(10時間講習)

企業内監督者の基礎的な技能の向上を目的として、日常業務に最も重要な部下の指導、人間関係、作業の改善を、TW I 方式にて訓練します。実習、実演を中心に行う、理論より実践を重んじた訓練で、企業のいずれの業種や規模にも適応できます。

対象者・定員 一般監督者 1コース10人まで(この講習は事業所単位でお申し込みください。)

コース・内容

「仕事の教え方 (J I)」教える前の作業分解の仕方及び確実に信頼のできる正しい教え方の技術を付与し、実践的な演習により部下の指導の仕方を習得します。

「改善の仕方 (J M)」現在持っている労力、設備の効果的な活用方法を付与し、また具体的演習によって労力、機械、材料の効果的な活用法を習得します。

「人の扱い方 (J R)」部下との人間関係を円滑にし、職場に問題が起きるのを未然に防止し、あるいは問題が起きても上手く処理する能力を付与し、部下の仕事に対する意欲を向上させる技能を習得します。

訓練場所・実施日

上記3コースの内の1コースにつき、1日2時間で5日間の訓練を貴社の実施計画に基づきご希望の日時、場所で訓練を実施します。

なお、講師の派遣につきましては、最寄り駅から講習会場までは、貴社にて送迎をお願いします。

受講料(1コース)

会員：69,900円 非会員：83,300円

※¹ この受講料は1事業所あたりの金額です。

※² 講習には受講料以外に別途資料代が必要です。

TWI 監督者訓練員(トレーナー)養成講習

この講習では、TWI 監督者訓練(10時間講習)の講師となるTWI 監督者訓練員(トレーナー)を養成します。

対象者 上級監督者

コース・内容

「仕事の教え方(JI)」
「改善の仕方(JM)」
「人の扱い方(JR)」

各コース毎に当協会所属のリーダーの指導の下、トレーナーとして社内等で監督者訓練が行えるよう、必要な知識、技能について演習を交えながら身に付けていただきます。
なお、各コースの訓練内容は17ページを御参照ください。

開催日 各回とも10日間(土日を除く) 午前9時～午後5時 計70時間 定員10名(1コース)

「仕事の教え方(JI)」 【第1回】 平成30年5月21日(月)～ 6月1日(金)
【第2回】 平成30年7月2日(月)～ 7月13日(金)
【第3回】 平成31年1月28日(月)～ 2月8日(金)

「改善の仕方(JM)」 平成30年6月18日(月)～ 6月29日(金)

「人の扱い方(JR)」 【第1回】 平成30年9月3日(月)～ 9月14日(金)
【第2回】 平成30年12月3日(月)～12月14日(金)

受講料(1コース)

「仕事の教え方(JI)」 会員：62,700円 非会員：75,100円
「改善の仕方(JM)」 会員：79,400円 非会員：95,200円
「人の扱い方(JR)」 会員：60,100円 非会員：72,100円

実地指導

講習修了後、2週間以内に習得科目の監督者訓練(10時間講習)を社内にて実施していただきますと、指導講師が1回(2時間)会場に出向き、無料で指導、評価します。

※最寄り駅から講習会場までは、貴社にて送迎をお願いします。

このTWI監督者訓練員(トレーナー)養成講習は、ご要望の日時、場所に講師を派遣して講習を実施することもできます。
内容や受講料は上記と同じで受講者数は6名から10人までです。
お気軽にご相談ください。